

## 花店の花育ワークショップ

作成者：一般社団法人日本生花通信配達協会 高橋洋子

- 対象者・人数：小学生～中学生 5～20人
- 所要時間：1時間程度（内容により異なる）
- 指導者・アシスタント人数：指導者1名、アシスタント1～2名
- 実施場所：花店、イベント会場、その他



「お月見」のフラワーアレンジメント

### □ 資材：＜「お月見」のフラワーアレンジメントの例＞

- ・取っ手付き竹かごの物
- ・ラッピングペーパー
- ・画用紙（黄色 他）※月を作る
- ・吸水性スポンジ
- ・ワイヤー
- ・ビニール袋



タケカゴ



ラッピングペーパー



画用紙



吸水性スポンジ

- 花材：・（白）小菊
- ・エノコログサ
- ・（紫）アスター
- ・（黄）ヒメヒマワリ
- ・（葉）ピットスポラム



エノコログサ



ピットスポラム



アスター

### 【指導内容と目的】

花を通して日常の中で、やさしい心、感動する心、自然を楽しむ大切にする心等、子供の豊かな心を育む等の情操面の向上を目的としたい。また、日本の花の文化は世界に誇れるものであるが、文明が進み、生活環境が変化し、近年の地球環境の著しい変化で、今後ますます花文化も薄れていくのではとの危機感も感じられる。花育を通して、日本の花文化や一般的な欧米由来の行事、地域の伝統的な文化が、身近な文化として生活の中に根付くことが望まれる。その役割を担う立場の中で、身近な切り花を扱うことを主とする花店は、各家庭に大変近い立場である。年間行事に沿って、花と緑に親しむ機会を提供したい。さらに、誕生日やお祝い事、いろいろな日常生活の中で花等と接する機会を作り、誰もが癒される植物を通して、心と心のつながりを深める機会としていきたい。

### 【対象者への配慮】

※対象者の、年齢・人数・場所・条件等により、配慮の内容を変更する

#### 1.安全面への配慮

怪我等をしないように、条件により、総合的に考える。

環境、花材、資材、道具、講習時間、アシスタントの人数等。

#### ○環境

・整理整頓されているか、会場の広さはどうか等。

#### ○花材について

・とげのあるものは使用しない、また手のかぶれるもの、扱いにくいもの等。

・茎の太さ、硬さ、花材の大きさを考える。

・年齢により、事前に前処理する、手伝う等、処理の仕方を変更する。

#### ○道具、資材について

・道具を考える、特に下の年齢には、ハサミは先端の丸いものを使用する等。

・危険だと予測されるものは使用しない。ガラス等割れる恐れのある物等。

・持ち帰りに不便なものは避ける。重いもの、持ち運びに都合の悪いもの、大きすぎる物等。

#### 2.年齢に応じた配慮

##### ○時間の設定（指導の時間、実習の時間等）

・長すぎない 特に子供の場合は、あきない時間を設定する。

・短すぎない ある程度余裕をもって、楽しめる時間に設定する。

##### ○机等の配置

・指導者の声をきちんと聞き取ることができる、また、皆が楽しく参加できる配置等。

##### ○楽しめる内容で。達成感がある、満足感がある等。

## 【対象者への配慮】

## 3. 経済面への配慮

- 年令に応じた講習費の設定が必要、同時に、花店だからできる工夫を。夢のある楽しめるものを考える。
  - ・ 花店で使用している資材（販売用）は、制作可能であれば、受講者が自分で作ることは楽しみの一つとなりうる。器等を作ることも内容のひとつとし、その指導をする。
  - ・ デザイン等を考慮したうえで、使用できる身近なものを利用する。
  - ・ 花材は、その時期（旬）に出回るものを使用する。

## 4. 充実感への配慮

- 楽しさ、満足感、達成感（知識を得る、作りあげる等）が生まれるように考える。
  - ・ 場所の環境作り、整頓されているか、整理されているか、夢を感じるか等。
  - ・ 年令に合わせた内容で、行事の説明をする。
- 定期的な開催をする。
  - ・ 年間スケジュールの作成

## 5. デザイン上の配慮

- デザインの中に、ワンポイント等工夫を取り入れる。
  - ・ 花だけでも十分であるが、何か一つでも工夫して取り入れると良い。説明も行事の由来、花材の説明等の基本的な説明に、一つ加えると良い。「行事に関連したものは」「自分で制作できるものは」「花に加えたら、楽しいものは」等。
- 花材、資材
  - ・ 花材は季節を取り入れると良い、資材は季節の雰囲気を感じさせる物等。
  - ・ 色彩を考える（組み合わせ、季節の色等）
  - ・ 香りのある花等の選択
- サンプルの準備
  - ・ 作品のサンプルを制作する。せっかくの機会であるので、作品の結果としての方向性を示せると良い。また、それにより行事の目的や作り方の理解につながる。反面、作りあげたそれぞれの作品は否定せず、場合によっては、年令に応じて、適切でわかりやすいアドバイスをすると良い。

## 1. 指導計画

## ● 基本的な考え方

- ・ 花に触れ親しむことで、情操面の向上を目的としたい。
- ・ 花に触れ楽しむことで、自由な発想や感性を養う。
- ・ 植物の自然な姿、季節感を感じてもらい、また、その心地よさを体験する。
- ・ 花や緑の文化・歴史、行事と花の係わりを教える。
- ・ いろいろな花を組み合わせ、アレンジメントや花束に仕上げる達成感を感じてもらう。
- ・ 心と心のつながりを深める機会としていく。

## ● 内容について

## 年間計画を作成する

- ・ 季節行事を主に、年間スケジュールを作成、その他の日常の行事（誕生日他）等も加えると良い。
- ・ 年間スケジュールに沿って、開催場所、時期、その他の概要を考える。個々には、具体的に開催日程を設定し、早めに広報（楽しそうなPR）を行い、適度な人数での開催ができるように、また、無理のない準備ができるように心がける。



アレンジメント



花束

## 実習の種類

- ・ アレンジメント…広い範囲でとらえて考える。
- ・ 花束…花束の制作は、花をざっくりとまとめるという考え方で良い。簡単にまとめて、ラッピング用紙で包み、リボンで結ぶ等。
- ・ コサージュ…花を身に着けるといって感覚で良い。花一輪でも良い、また、葉一枚等加えてもおもしろい。ひもや細いリボン等でしばり、それを花飾りとして使用する。花を身につける楽しさ等を感じてもらう。
- ・ その他…寄せ植え等、また、寄せ植えとアレンジメントを一緒にしたもの等。

## 使用する花

- ・ 種類は、周年花材に加え、季節を感じる旬のものが入ると良い。
- ・ 行事にちなんだ花材がある場合（モミ、松等）は、用意できる範囲で良いので使用し、行事と花の係わりを説明する。
- ・ 色は、行事にちなんだ色があれば、取り入れる。



アレンジメント



コサージュ

- ・ 季節と合わせて考えると良い。また、年間スケジュールをたて、主の色が、毎回同じ色にならないように楽しめるように工夫する。また、同系色でそろえる、反対色を入れる等の工夫も。



- ・比較的扱いやすい花、安全な花、手に入りやすい花を使用する。
- ・身近に花材が採集できれば、それを使用してのデザインを考えても良い。

### 使用する道具・資材

- ・はさみ等の作業上必要な道具、また、制作上最低限必要な資材については、まず安全面を考慮にいれ、選択する。次に、作業のしやすい扱いやすいものを選択する。
- ・経済面を配慮し、なるべく低価格で使用できるもの、身近な資材・素材を選択すると良い。また、受講者が家庭で応用する場合、探しやすい資材・素材であることにも考慮する。
- ・器は、どこの家にもあるような物を持ってこさせても良い。
- ・子供にもできる作業を考える。オーナメント(装飾用小物)の制作、また、器を探す等。
- ・身近にあるもの、安価な物を使って、できるものを考える。紙(折り紙、画用紙、ダンボール等)、針金、串、ひも、空き箱等
- ・着色をしてみる。色鉛筆、えのぐ、カラーペン等
- ・季節にちなんだもの、その行事の雰囲気の出るもの等を加えると良い。
- ・花にプラスするものとして、何か一工夫を考えると良い。

### (例)

- ・安価な素材(紙やひも等)で、オーナメント(装飾用小物)を制作し、加える。  
ハロウィン…魔女・猫・可愛いオバケ・かかし  
クリスマス…星・天使・綿で作った雪・枯れ枝で作ったまきの束
- ・季節の果物や野菜を入れて季節感を出す。  
初夏…レモン等、すっきり見えるもの  
秋の収穫期…栗、豆  
ハロウィン…ミニカボチャ  
クリスマス…赤や緑の小さなりんご  
その他、収穫したハーブ等
- ・身近な素材を調達させる。  
ハロウィン…落ち葉・枯れ枝  
クリスマス…枯れ枝  
器…リサイクルできるものの利用



### 環境作り

- ・場所の設定、環境作り  
安全面、作業の効率、受講者の条件、満足度、場所の条件等を考慮する。環境が整頓されているか、整理されているか、夢を感じるか等。

## 2.年間スケジュール表(例)

月	行事	ポイント等	花材の例	資材の例
1月	お正月	年末に用意をし飾り付けをする。飾る日にちを教える。アレンジに限らず、戸口につけるドア飾り等の形にしても良い。	松(若松、根引き松等)、水仙、千両、赤い実、春の訪れを感じさせるもの	水引、紅白の和紙、ひも等。紅白の器。塗りに見えるプラスチック製のお盆等。また、金銀を使うのも良い。
	七草	花材としては難しいが、行事として教えるのは良い。	七草の一部を使用して、他の花材を合わせるのも良い。	竹かご等
2月	節分	アレンジ等は作りにくいが行事として教えるのは良い。		
3月	雛祭り	雛壇に飾るミニアレンジメント等。可愛らしい感じに。	桃、菜の花、チューリップ等	朱塗りの盆や杯等。菱餅色のオーナメント等。
	卒業式	このような機会に花を飾る、贈る等を教えるのも良い。アレンジメントに限らず、花束作り(簡単に花をまとめる方法)等を教えても良い。その場合ラッピング(簡単な花包み)も教えると楽しみの一つとなる。	春の花、桜等	花束の場合、ラッピング用紙、リボン等
4月	入学式	同上	同上	同上
	緑の日	名前にちなみ、緑を保護し、自然と親しむことを教える。緑で心を豊かにすること、植物に感謝する。	緑色を中心とした、グリーンアレンジメント等。	
5月	端午の節句	初夏らしい、すっきりとまとめたアレンジ等	ショウブ、まっすぐな緑の葉等	オーナメント(こいのぼり、吹き流し等)の制作
	母の日	アレンジメントに限らず、花束にしても良い。花束の技術を教えなくても、花をざっとまとめて、紙で包み、感謝の気持ちを込めて母への贈り物とする等	カーネーション(赤にはこだわらなくても良い)、その他の花材は自由	ラッピング用紙、リボン等
6月	父の日	母の日と同様、感謝の気持ちを込めて父への贈り物とする等。	バラ(黄色)、果物(レモン等)、また緑の観葉植物等を寄せ植えにしても良い	ブリキの器等
7月	七夕	七夕飾りの作り方等を教えると良い。笹の鉢物を使った寄せ植え、また笹の枝を入れた花束等。花束として簡単にまとめて、七夕飾りをつける等、そのまま花瓶にさして家に飾れる大きさにする。	笹(ミニの鉢物でも良い)、花材と合わせて寄せ植え等	竹かご等、折り紙等でオーナメントの制作、串、ワイヤー等
8月	お盆	先祖供養。行事として教えるのは良い。		
9月	敬老の日	花材等は、あまり年齢に合わせないで良い。明るいものが好まれる。洋風でも良い。	秋の花材	
	お月見	秋のイメージ、月を觀賞することを伝える。また収穫したものを盛り込む等。	秋の花材。また、栗や豆等を入れても良い。秋の枝もの、ススキ等	竹かご等。オーナメント(月、ウサギ、お団子等)を制作する。
10月	ハロウィン	枯れたものも使って良い。オレンジ色や黄色系を使うと良い。お祭りとして楽しむこと!少し怖いイメージも、おどけた怖さで良い。ダンボール等でミニハウスを制作する等。	ミニカボチャ、秋の花材、枯れた枝や落ち葉、ススキ	オーナメント(魔女、オバケ、クロネコ等)を紙等で制作する。
12月	クリスマス	クリスマスカラー(緑・赤・白)を取り入れる。アレンジに限らず、ドア飾り等も良い。	モミ、赤い花、白い花、赤い実等。緑はユーカリ等	オーナメント(星、天使、リング等)を制作。マツボックリ、木の实、藁等

### 3. 事前準備

#### 開催日程・場所の決定と広報

- ・開催日程と場所を決定し、参加者を募る。
- ・参加者を募る媒体を決め、作成する。
  - チラシ……楽しく、内容がわかりやすいものを作成
    - 広報と申込の両方に使用できるものが良い
    - 自店の店頭等に置く
  - ホームページ……自店のホームページ 等
- ・定期開催ができれば、開催日に次回の内容を広報しておく。
- ・事前に知らせることがあれば、チラシ等の中に盛り込む。持参する物等。

#### 内容の決定から準備・確認

- ・テーマに沿って、内容を決める。
  - テーマ、対象者、人数、費用、その他の条件等により、実習内容の詳細を決める。説明や実習時間の時間配分をしておく。
- ・参加者のリストアップ、参加人数の確認
- ・花材資材の発注、調達
- ・会場の設備等の確認
  - 花材資材の設置場所・水場
- ・花材資材の運搬方法、搬入経路
  - 宅急便の場合、受け取り手・送付場所・送付日程
  - ゴミ処理方法
- ・準備品をリストアップ、調達と送付・運搬準備
  - 会場によっては、ゴミ袋・掃除用具等も持参する。
- ・当日のスケジュール作成・時間配分
  - 参加人数等によっては、アシスタントと事前に打ち合わせを行う。
- ・当日の説明事項の準備
  - テーマの説明、花材資材、今日のポイント 等
- ・当日の配付資料の作成
- ・実習終了後の準備
  - 持ち帰るものを入れる袋等、また、持参してもらう場合は事前に知らせる。

### 4. 広報のための資料(例)

#### 「クリスマスのドアかざりを作ろう!」

12月25日はクリスマス、欧米では約1ヵ月前から、クリスマスの準備を始めます。子供にとっても、楽しい準備期間となります。今回は、クリスマス用のドアかざりを作ってみましょう。

クリスマスについてのお話もありますよ。もうすぐ来る☆Xmas☆を迎える準備をしましょう。

#### 「クリスマスのドアかざりを作ろう!」

■ 日時:〇〇〇〇年12月〇〇日(〇)  
〇〇:〇〇~〇〇:〇〇

■ 場所:〇〇花店  
■ 住所、電話番号 等

- ・定員〇〇名(定員になりましたら、しめきりとさせていただきます。)
- ・受講費:〇〇〇円。実習道具はこちらで用意します。
- ・作品を持ち帰る袋(作品の大きさ〇〇)をもってきてください。

お問合せ・お申込は、☎〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 担当〇〇まで。

- ・参考作品
- ・HPアドレス 等



## 5. 当日の流れ

### 準備

- ・アシスタントと打ち合わせをする。
- ・会場のセッティング (床の養生、机、椅子の設置)
- ・花材・資材・道具
- ・配付資料

### 当日の流れ

#### 参加者の受付 (確認)



#### 実習場所への誘導



#### 参加者人数の確認 (スタート)



#### 挨拶後、説明

- ・時間、内容、時間配分等は、対象者その他の条件により決めておく
- ・適切なスピードと声の音量、丁寧な話し方を心がける。

テーマ (由来等も含む) ⇒ 花材資材 (名前・原産地・今日の花の生産地・行事との係わり) ⇒

作り方 ⇒ 今日のポイント ⇒ 後片付けについて (できることはなるべくさせる) ⇒

その後の手入れ法

時間があれば、応用する場合のポイント等



#### 実習 (持ち帰りの準備も含む)



まとめ (ある場合 次回の広報 等)



#### 後片付け

- ・個人の片付け
- ・全体の片付け 時間があれば、できることを全員で行うようにする (掃除等)



#### 終了 (参加者は解散)



全体の後片付け、開催場所への挨拶 等



アシスタントとミーティング (まとめ、次回への課題 等)

## 6. 当日配付資料 (参考)

### 〇〇〇〇年9月〇日 花育ワークショップ お月見のフラワーアレンジメント



#### お月見

中秋の名月を愛でる習慣です。月見だんとスキの穂などをかざります。今年は〇〇月〇〇日が十五夜になります。そんなお月見をイメージした、フラワーアレンジメントをつくってみましょう。

- 花材**
- ・小菊(白)
  - ・エノコログサ
  - ・ヒメヒマワリ
  - ・アスター(紫)
  - ・ピットスポラム



- 資材**
- ・取手付き竹かご
  - ・ラッピングペーパー
  - ・吸水性スポンジ
  - ・ビニール袋
  - ・画用紙(黄色 他)※月を作る
  - ・ワイヤー

#### 作り方

- ① かごにラッピングペーパーをセットします。
- ② スポンジをビニール袋に入れて、かごにセットします。
- ③ スポンジに、3種類の花と葉物をさします。
- ④ 最後に、エノコログサを、花より少し高くいれましょう。
- ⑤ 仕上げに、画用紙で作った「月」の飾りをつけて出来上がりです。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

#### お手入れの方法

- ・水のやりかた…… 花をさしたスポンジの乾き具合をみて水をあげてください。
- ・置き場所…… エアコンなどの風が直接当たらない場所や、直射日光の当たらない場所のほうが長く楽しめます。

日本には、古くから、月を鑑賞する習慣があり、月の美しさを詠んだ歌も多くあります。お月見は、主として、陰暦の8月15日の“名月”と、同じく陰暦の9月13日の“あとの名月”とを愛でる行事です。十五夜のお月見だけして、十三夜のお月見をしないことを片月見といい、縁起が悪いとされています。お月見が盛んに行われるようになったのは、江戸時代になってから。おだんごとともに芋や栗、枝豆などを盛り、すすきと秋草をいけます。



## 6.当日配付資料(参考)

〇〇〇〇年12月〇日 花育ワークショップ  
クリスマスのドアかざり



**花材** ・モミ(小3本程度)  
・サンキライ(数個)  
・ネズ枝

**資材** ・リースワイヤ(#23など)  
・金や銀のワイヤー  
・ベル(20mm程度)  
・クリスマスのオーナメント、松ぼっくり など



## 作り方

- ① モミを10~20cm程度に切り、下5cmの枝の葉はきれいにとっておく。
- ② モミとネズ枝を、三角形をイメージして組み、リースワイヤーでしっかりまとめる。
- ③ 枝の途中、上から3~5cmくらいのところにリースワイヤーを巻きつけ、ドアから下げるためのフックをつくる。
- ④ サンキライにリースワイヤーをかけ、止めつけるためのワイヤーを7~8cmほど残して切る。サンキライを、モミ枝にワイヤーで巻きとめる。
- ⑤ 最後に、金や銀のワイヤーやベル、オーナメントでかざりつけをして完成!

## 今日のポイント

・小さなモミの木をイメージして作ってみよう。  
・飾り付けは、自由な発想で!拾ってきた松ぼっくりや枝、白いわた(雪)など、身近なものでクリスマスの雰囲気がでるものを見つけてみよう。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

## お手入れの方法

・そのままドアに下げてかざります。水をやらなくても大丈夫です。  
・置く場所にもよりますが、1~2週間は緑色をしています。  
また徐々に乾いていきますが、自然な感じで素敵なドライフラワーのかざりになります。

12月25日、キリストの生誕を祝うキリスト教の行事です。その前夜をクリスマス・イヴといひます。クリスマスは英語でキリストのミサの意味。フランス語ではノエルといひます。また、欧米ではアドベントといひて、クリスマス前の4週間、常緑樹のリースにキャンドルを飾ってクリスマスを待ち望む準備期間があります。

## 6.当日配付資料(参考)

〇〇〇〇年10月〇日 花育ワークショップ  
ハロウィーンのフラワーアレンジメント



**花材** ・ミニカボチャ  
・スプレーマム(茶系)  
・カーネーション(オレンジ)  
・チョコレートコスモス  
・イボタの実  
・トウガラシ

**資材** ・黒い器  
・吸水性スポンジ  
・リボン(ハロウィーン柄、オレンジ系など)  
・串または小枝



## 作り方

- ① 器にスポンジをセットします。器の口より、約3cm位下にセットをします。
- ② カボチャに目鼻口の形に切り抜いたシールを貼って顔を作り、カボチャの位置を考え、スポンジの上に置きます。上から少し押さえてスポンジに固定させます。
- ③ カボチャを置いていない部分のスポンジに、スプレーマム、カーネーション、イボタの実、トウガラシを低めにさします。
- ④ チョコレートコスモスを少し高めに、ゆらゆら揺れる感じでさします。
- ⑤ リボンはワイヤーをつけ、そのワイヤーで串(または小枝)に結びつけます。串をスポンジにさして、リボンを飾り付けて完成です!

## やってみよう!

ハロウィーンらしい、小さなオーナメントを作って、飾ってもいいよ!

★黒い画用紙で作ってみよう………魔女・黒猫 いろいろ考えてね!  
☆白い画用紙で作ってみよう………可愛いオバケ

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

## お手入れの方法

・水のやりかた……花をさしたスポンジの乾き具合をみて水をあげてください。  
・置き場所……暖房などの風が直接当たらない場所や、直射日光の当たらない場所のほうが長く楽しめます。

万聖節の前夜祭(10月31日の夜)。古代ヨーロッパ、アイルランドのケルト人の収穫感謝祭であったと伝えられています。またその日は、1年の最後の日だと考えられていました。いつの頃からか、子供のお祭りとなり、子供も大人も楽しむ日となりました。アメリカではカボチャに目鼻口を開けてろうそくをとす「ハロウィンランタン」を作る習慣があります。

## 6.当日配付資料(参考)

〇〇〇〇年3月〇日 花育ワークショップ

## ひな祭りのフラワーアレンジメント

## ひな祭り

3月3日はひな祭りです。桃の節句とも言われています。  
桃の花や菜の花など、春の花を使ってアレンジを作ってみましょう。



**花材**

- ・桃の花
- ・菜の花
- ・チューリップ
- ・スイトピー
- ・アスター
- ・ハラン

**資材**

- ・器(プラスチック製)  
※外からハランを巻く
- ・両面テープ
- ・吸水性スポンジ



## 作り方

- ① スポンジの入った器の外側にハラン2枚を両面テープでとめながら、巻いていきます。  
器が見えないように全面をかくすのがポイントです。
- ② スポンジに、まず桃をさして、おおよその高さを決めてみましょう。
- ③ つづいて、チューリップ、菜の花、スイトピー、アスターをさして出来上がりです。

## 今日のポイント

・「葉の器」を作ろう。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

## お手入れの方法

- ・水のやりかた…… 花をさしたスポンジの乾き具合をみて水をあげてください。
- ・置き場所…… エアコンなどの風が直接当たらない場所や、直射日光の当たらない場所のほうが長く楽しめます。

人形の歴史は古く平安初期、今から1,000年も前にさかのぼります。源氏物語の中にも「ひいな遊び」と呼んで宮中の幼い姫たちの人形遊びが記されています。古くから中国には3月3日あるいは、3月上旬(最初の日の日)に水辺でお祓いをする行事がありました。この行事が日本に伝わり、お祓いをした人形(紙や草でつくった簡素な型代)を水に流して送る日本古来の風習と結びついて「流し雛」の風習が生まれました。これがひな祭りの起こりといわれています。また3月3日にひな祭りを行うのは、ちょうど桃の花が咲くころで、桃には魔除けの力があるとも考えられていたことから、節句を祝うのにふさわしいものとして、「桃の節句」と呼ばれるようになりました。

## 6.当日配付資料(参考)

〇〇〇〇年7月〇日 花育ワークショップ

## 七夕のフラワーアレンジメント

## 七夕(たなばた)

7月7日は七夕です。七夕のアレンジを作ってみましょう。



**花材**

- ・リンドウ(青)
- ・スプレーカーネーション(赤)
- ・スプレーマム(緑)
- ・ナデシコ(白)
- ・アスター(紫)
- ・笹苗(オロシマザサ、チゴザサなど)

**資材**

- ・竹かご
- ・吸水性スポンジ、ビニール袋
- ・ラッピング用紙
- ・折り紙 など ※七夕飾り用
- ・ワイヤー、のり、両面テープ など



## 作り方

- ① かごの内側にラッピング用紙を敷き、余分なペーパーは切る。
- ② 2種類の笹鉢の鉢の表面をふき、水漏れ防止のビニール袋に入れかごの奥に2鉢並べる。
- ③ 手前の空いたスペースにビニール袋に入れた吸水性スポンジを入れる。
- ④ 吸水性スポンジに、5種類の花を低めに挿す。
- ⑤ 七夕の飾りをつけて出来上がり!

## 今日のポイント

・五色の短冊の色はなんだろう、花の色を見てね!  
・七夕飾りを作ろう!

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

## お手入れの方法

- ・水のやりかた…… 花をさしたスポンジの乾き具合をみて水をあげてください。
- ・置き場所…… エアコンなどの風が直接当たらない場所や、直射日光の当たらない場所のほうが長く楽しめます。

七夕は、五節句のひとつで、7月7日に行われる星のお祭りです。天の川をへだてて、向かい合う2つの星の恋の伝説があります。織姫(おりひめ)と彦星(ひこぼし)が年に一度だけ、お互いの願いがかなって、天の川で会うことを許されるこの夜に、五色の短冊に願いごとを書いて笹につると、その願いごとがかなうといわれています。